

《研究報告》

## 老年看護学実習における高齢者の生活を支える 看護技術の実施状況および課題

坂 恒彦, 福田 愛子, 池俣 志帆, 粥川 早苗

椋山女学園大学看護学部

### 要 旨

【目的】 老年看護学実習における高齢者の生活を支える看護技術の経験および到達度の現状を明らかにし、今後の老年看護学領域における実習、演習や講義等の教育に活かすことを目的とする。

【方法】 「成人老年看護学実習技術経験録」をもとに、高齢者の生活を支える援助の到達度と実施状況について分析した。

【結果】 技術の実施状況の内、実施率が80%以上と高かった項目には「患者の栄養状態のアセスメント」、「患者の食事摂取状況のアセスメント」、「車椅子移送」があった。実施率が20%以下と低かった項目には「経鼻胃チューブからの流動食の注入」、「膀胱留置カテーテルを挿入している患者の観察」、「患者に合わせた便器・尿器を選択したうえでの排泄援助」があった。

【結論】 経管栄養に関する食事援助といった実施率が低かった項目については、学生の理解を高めるため、演習、講義において知識、技術を身につける機会を増やしていく必要がある。

キーワード：老年看護学実習、高齢者、看護技術